

2025年9月号 VOL.88

軽音楽部マガジン

発行：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会

配布：全国 2,140 校の高等学校軽音楽部



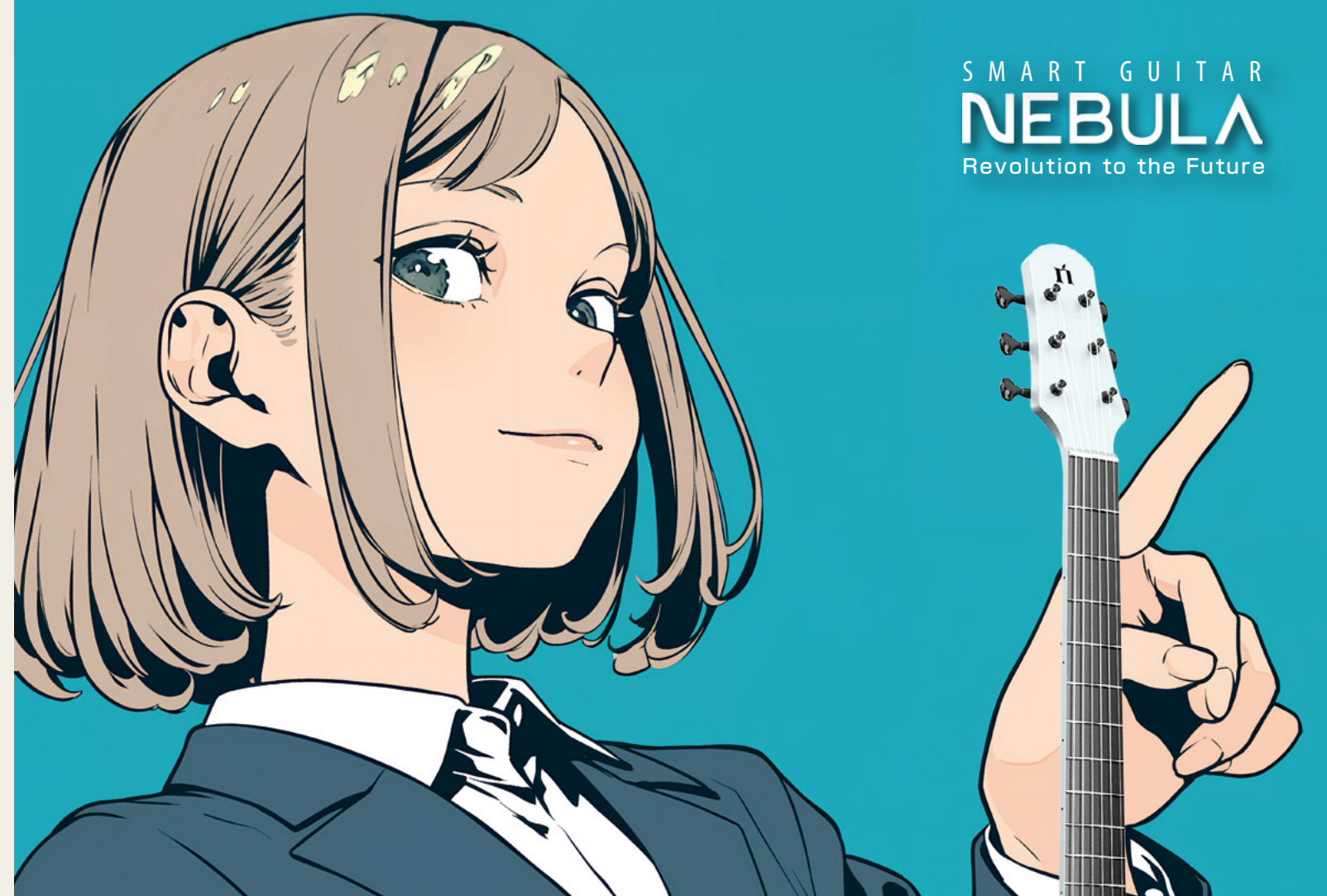
軽音楽コンテストは勝敗を決める場ではない

夏の「関西」「中部」「関東」大会の総括と所感

各部門の入賞曲講評から楽曲の制作過程を振り返る



軽音楽部マガジン
バックナンバー

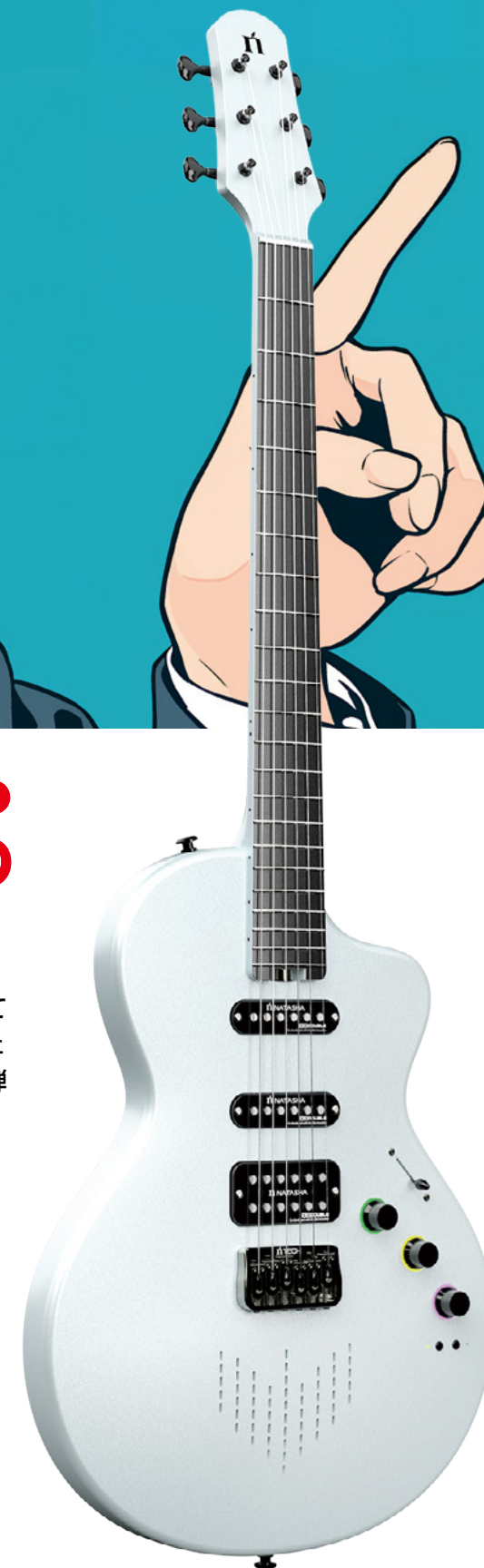


SMART GUITAR
NEBULA
Revolution to the Future

ヘッドフォンで演奏が楽しめる スピーカー、エフェクト内蔵の SMART なギター

アンプへの接続はもちろん、ヘッドフォン端子やスピーカーを内蔵。軽くて丈夫なカーボンファイバーを本体に採用し、多彩な音作りを実現するエフェクターやチューナー、メトロノーム、ルーパーを搭載。いつでもどこでも「弾きたい!」と思った瞬間に演奏できる、スマートなギターです。

- 1 スピーカー搭載で、面倒な準備をスキップ
- 2 ヘッドフォンを接続すれば、夜間の演奏も◎
- 3 ワンタッチでエフェクトが切り替わる
- 4 豊富なエフェクト群を自由にカスタマイズ
- 5 演奏をサポートしてくれる様々な便利機能
- 6 USB Type-C 対応でギターの録音が簡単に
- 7 高温多湿に強く、軽量なカーボン素材
- 8 丈夫で使いやすい高機能なギグバッグ付属



定価：77,000 円（税込）
高機能ギグバッグ付属



nebulaguitar.jp

全国約4,800校の 高校に軽音楽部を！

※現在、軽音楽部があるのは**2,140校**です（令和7年6月1日当協会調べ）

軽音楽部の諸活動を通して若者の成長を応援しています

1 軽音楽部の正しい理解を

軽音楽部は部活動としての歴史が浅く、ポピュラーミュージックやバンドへの偏見も一部に残っており、正しく理解されていないのが実状です。STEAM教育の一端として、軽音楽を通じた部活動の有意義さや得られるものなどを学校内外へ広めていきます。

2 軽音楽部の全国普及に向けて

学校教育の一環である部活動のひとつとして、軽音楽部が全国の学校に設立されることを目指し、日々の練習や演奏会のサポート、楽器や機材の相談、各種クリニックや大会の開催など、諸活動をバックアップしていきます。

3 新しい活動の提案と支援

デジタル化、IoT化による現代的な楽器や機材、DTMの普及による新しい軽音楽のスタイルなど、今と未来に見合った活動を各業界とのパイプ役として軽音楽部に提案、支援しつつ、軽音楽のポップカルチャーとしての発展を目指します。

当協会の理念や活動内容にご賛同いただける方々のご寄付をお待ちしております
詳しくはこちらまで…



特別賛助会員の皆様（敬称略／順不同）

株式会社ミュージックネットワーク	ギブソン・ブランド・ジャパン株式会社
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団	フェンダーミュージック株式会社
一般社団法人サトヤマカイギ	有限会社エムエージー
名古屋芸術大学	株式会社トップトラベルサービス
宝塚大学	株式会社福々家（モアリゾート、ホテル寺尾温泉）
日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校	有限会社ユイネ（音楽ロッヂ ゆうげん荘）
専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社オーティーズ
専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社サウンドハウス
専門学校大阪ビジュアルアーツ・アカデミー	株式会社池部楽器店
名古屋スクールオブミュージック＆ダンス専門学校	

特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会
keionkyo.org



軽音楽部マガジン

令和7年9月号 VOL.88

■軽音楽部マガジン VOL.88 ■創刊：平成25年12月18日（水）■第14巻7号通巻88号
■監修・発行／特定非営利活動法人（NPO法人）全国学校軽音楽部協会 JASLMC（Japan Association of School Light Music Club）
〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1-37-6-405 TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900 E-Mail：info@keionkyo.org
■企画・編集／株式会社ミュージックネットワーク

軽音楽部は学びの宝庫 軽音楽コンテストは勝敗を決める場ではない………4

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 理事長 三谷佳之

主催大会レポート 夏の「関西」「中部」「関東」大会の総括と所感………6

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 副理事長 辻 伸介

第7回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会
第12回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会
第10回 高等学校軽音楽コンテスト関西大会
第2回 高等学校軽音楽文化祭 国際大会

中国最大規模の青少年バンドコンテスト
「BAND CHINA」に審査員として参加………11

各部門の入賞曲講評から楽曲の制作過程を振り返る………14

音楽／エンタメ業界の仕事 2025

業界全般

日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校………16

レコーディングの仕事

専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー………18

From Chief-In-Editor

「百聞は一見にしかず」と「批評力」：軽音楽部が育む社会性

暑かった夏が終わり、学校には一息つく間もない短い秋が訪れています。顧問の先生方におかれましては、生徒の指導に「暇な時期」はないかもしれませんが、生徒たちの成長にもストップがかかりません。特に4月に入部した新入生たちは、夏の大会を経て、自分がこの部で「何をすべきか」がより鮮明に見えてきた頃でしょう。

今月号では、夏の大会の様子をレポートしています。しかし、この大会の意義を本当の意味で消化するのはこれからです。軽音楽部の大会への参加には、単に「ステージで演奏する」という言葉通りの意味に加え、もう一つ重要な意味があります。それは、他校の生徒のステージ上での演奏や、ステージ以外での真摯な立ち居振る舞いから、何かを学ぶという目的です。

軽音楽部の本来の目的は、楽器の演奏技術がうまくなることだけではありません。それは、「正解のない時代」を生きる高校生が、自分で考え、自分で学び、他者からの評価を受け止めるという、社会に出てからの「当たり前」の経験を高校時代に積むところにあります。そう考えると、「演奏が下手だから参加しない」という言い訳は成り立たず、むしろ「演奏が下手なら、うまい人の演奏を見に行こう」という積極的な行動にこそ、この部活動の真価があります。そして、この「学ぶ」姿勢をさら

に深めるため、夏の大会の様子（過去の大会の演奏含む）を今秋、YouTubeで映像としてすべて公開します。

生徒の皆さんには、これを単なる思い出の映像として終わらせず、ぜひ部として鑑賞会や勉強会を励行して欲しいと願っています。画面越しに、大会という場で輝いた他校の演奏、技術、演出、そして立ち居振る舞いを細部まで「一見」してください。さらに重要なのは、その映像を見て「批評（ひびょう）する力」を持つことです。「批判」ではなく、「なぜこの演奏は聴く人の心に響いたのか」「技術面、構成面でどこが優れていたのか」と、ポジティブかつ建設的に分析する力です。この他者の良い点を的確に見抜き、言語化する力こそが、社会に出てから必要とされる「評価」と「分析」の基礎となります。

演奏技術の巧拙にかかわらず、全生徒がこの映像に触れ、他者から学びを得る機会を提供することこそが、私たちの果たすべき重要な役割です。この秋、夏の経験とYouTubeの鑑賞を通して、生徒たちが「見極める力」を養い、さらなる躍進を遂げることを期待しています。

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 理事長 三谷佳之

軽音楽部は学びの宝庫

軽音楽コンテストは勝敗を決める場ではない

三谷佳之

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会
理事長

軽音楽コンテスト（大会）は、軽音楽部に所属する高校生たちにとって、日頃の練習の成果を発表する大切な舞台です。しかし、このコンテストは単に演奏の優劣を競うだけの場所ではありません。いつも私たちは「部活動を通して育まれる人間性」という、より深いテーマを大切にしています。なぜなら、音楽や芸術というものはスポーツのように明確な数字で優劣を決められるものではないからです。

音楽に「一番」を決められない理由について

スポーツはタイムや点数、ゴール数などの数字で「勝った」「負けた」がはっきりとわかります。しかし、音楽や芸術は少し異なります。

例えば、レオナルド・ダ・ヴィンチの「モナ・リザ」（1503年～1506年頃）、フェルメールの「真珠の耳飾りの少女」（1665年頃）、ピカソの「ドラ・マールの肖像」（1937年）。この3つの絵のうち、「どれ

が一番素晴らしいか？」と聞かれても、答えを出すのは難しいでしょう。それぞれに異なる良さがあり、その価値は人によって、時代によっても変わるからです。音楽も同様で、聴く人の心にどう響くかが大切であり、たった1つの基準だけで「良い」「悪い」は決められません。

この考え方は私たちがコンテストを運営する上での一番のこだわりです。審査員も、ただ技術が優れているかどうかだけでなく、バンドの個性や表現力、そして、会場をどんな雰囲気にしたかなど、多角的な視点から評価しています。

しかし、学校教育の一環として考えると、自分自身の今の立ち位置を知るための「物差し」も必要です。そのため、コンテストでは順位をつけていますが、これは、あくまで「あなたの今の実力はこのあたりです」という目安であり、今後の目標を見つけるためのヒントとして捉えていただきたいのです。順位という結果だけでなく、審査員からのアドバイスや他のバンドの演奏から学ぶことこそ、

皆さんの成長にとって何よりも価値のあることだと考えています。

審査の物差し、バンドの「アンサンブル」

では、私たちはこの「物差し」として、何に着目しているのでしょうか。音楽に「一番」を決められないからこそ、私たちは順位をつける際に「バンドのアンサンブル」という基準に着目しています。

私たちのコンテストでは、既存曲のコピーでも、オリジナル曲でも出場することができます。「コピーよりもオリジナルの方が上位である」という意見をよく耳にしますが、それは絵画に例えると、理解しやすいかもしれません。

有名な画家が描いた絵画を寸分違わぬようにコピーする、つまり、贋作作りにはとても高度な技術が必要になります。一方、オリジナルの絵画なら誰でも描くことができます。もちろん作画技術の優劣はありますが、コピーと言えども、真

贋が問われるレベルの贋作ともなれば、高い技術が必要になるのです。そういうこともあるので、私たちは楽曲やアレンジの良し悪しには踏み込まない方針で、当日のアンサンブルの出来栄で評価しています。

「アンサンブル」とは、一人ひとりの演奏技術はもちろんのこと、リズムの一体感、音量のバランス、そして、お互いの音を聴き合いながら演奏するコミュニケーション能力など、バンドとしての一体感を示すものです。このアンサンブルの質こそが、聴衆の心に届く演奏を生み出す鍵だと考えています。

コンテストが育む、これからの時代に必要な力

部活動は単に楽器が上達するだけの場所ではありません。軽音楽部のメンバーはバンドという小さなチームの中で、協調性やコミュニケーション能力を育んでいきます。1つの楽曲を完成させるまでには、メ

ンバーそれぞれの意見を尊重し、時にはぶつかり合いながらも、1つの音楽を作り上げていくプロセスが不可欠です。

このプロセスは勝ち負けにこだわるスポーツ競技とは少し違う側面を持っています。もちろん練習の成果としての演奏技術は大切ですが、それ以上に仲間と協力して困難を乗り越える力、そして「どうしたらもっと良くなるだろう？」と自分で考えて行動する力が求められます。

そのため、顧問の先生に求められる指導も、技術を教える「ティーチング」よりも、生徒たちが自ら答えを見つけられるように手助けする「コーチング」が重要になってくると考えています。

コーチングの本質とは、答えを教えるのではなく、「問いかけ」を通じて、生徒自身に気づきを促すことにあります。例えば、単に「ここはもっと速く弾こう」と指示するのではなく、「この曲のクライマックスをもっと聴いている人に強く印象付けるにはどうしたら良いと思う？」と問いかけることで、生徒は自らの演奏を客観的に見つめ直し、表現の可能性を自発的に探求し始めます。

顧問に求められる「褒める」の質

ただ闇雲に「上手だね」と褒めるだけでは、生徒の成長は限定的かもしれません。コーチングにおいては「承認（Acknowledge）」というアプローチが鍵となります。これは単に良い結果を褒めるのではなく、その結果に至るまでのプ

ロセスや努力を具体的に言葉にして認めることです。「何度も練習していた右手の動きが滑らかになっていたね」といったように、具体的な努力を指摘することで、生徒は「自分の努力は正しかったんだ」という自信を得て、次なる挑戦への意欲を高めます。

このように、コーチングは生徒の内側から湧き出る力を引き出し、自律的な成長を促すことを目指します。唯一の正解がないと言われる今の時代に、軽音楽部は自分で考え、創造する力を育むのに最適な場所と言えるでしょう。

結果よりもプロセス、演奏者だけでなく観覧者も学ぶ

コンテストでの結果そのものに一喜一憂するのではなく、同世代の高校生と同じステージに立つことで、お互いに学び合って欲しいと私たちは願っています。同じ条件で演奏するからこそ、学べることは山のようにあります。

ステージに立つ前の控室での立ち居振る舞い、楽器やエフェクターからシールドケーブル、電源ケーブルなどの整備や取り扱い、個人の音出しからバンド全体のサウンドチェックの仕方、ステージでの目配せに至るまで、学べることは無数にあります。それこそ、他者から学ぶ姿勢であり、ステージで演奏をしないまでも、応援に来ている他の生徒も学べるポイントだと考えています。

よくあるのは、大勢の部員を抱えている部活動にもかかわらず、ステージで演

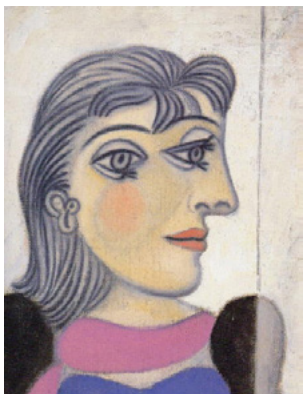
奏するバンドの生徒だけが会場に来ている様子を見かけることです。これは非常にもつたいないことだと言わざるを得ません。なぜなら、他県の高校の、知らないバンドの、ステージに向かう真剣な姿勢を学べる、またとない機会を逃しているからです。会場に足を運び、ステージを見ているだけでも多くのことを学べます。

コンテストの真の価値

私たちは、このコンテストが「優勝至上主義」に陥ることなく、結果よりもそこに至るプロセスと、演奏者だけでなく観覧者も学べる場となることを目指しています。

入賞という結果だけに囚われるのではなく、「あのバンドのドラマーは、演奏中にメンバーとアイコンタクトをしつかりと取っていたな」とか、「あの高校のサウンドチェックの仕方がすごく勉強になった」というような、具体的な学びを持ち帰って欲しいのです。そうした気づきこそが、順位という表面的な結果よりも皆さんの成長にとって大きな財産となるはずです。

軽音楽部のコンテストは演奏技術を競い合う場であると同時に、音楽や芸術の価値、そして、部活動の真の意味を深く考えるきっかけをくれる場所です。私たちは、このコンテストを通して、皆さんが単なる演奏家としてだけでなく、一人の人間として大きく成長できるように、これからお手伝いしていきたいと考えています。



パブロ・ピカソ「ドラ・マールの肖像」
1937年



ヨハネス・フェルメール「真珠の耳飾りの少女」
1665年頃



レオナルド・ダ・ヴィンチ「モナ・リザ」
1503年～1506年頃

令和7年度

第7回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会

令和7年7月31日(木) 青葉公会堂

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

後援：文化庁 特別協賛：日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校／専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー／ギブソン・ブランド・ジャパン株式会社



グランプリ受賞
中央大学杉並高等学校／nèolull



校軽音楽コンテスト関東大会

協賛：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人かけはし芸術文化振興財団
後援：文化庁 特別協賛：日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校／専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー／ギブソン・ブランド・ジャパン株式会社

結果報告

グランプリ 中央大学杉並高等学校／nèolull
準グランプリ 神奈川県立市ケ尾高等学校／404
第3位 中央大学杉並高等学校／Myris
奨励賞 相模女子大学高等部／coconuts
奨励賞 中央大学杉並高等学校／poppin sugar
奨励賞 神奈川県立藤沢総合高等学校／Mume! 少女

東京学館船橋高等学校／Riots for peace
高崎商科大学附属高等学校／Sense of wonder
東海大学付属浦安高等学校／「ソネット」
東京都立鷗宮高等学校／Act.
茨城県立牛久高等学校／雨戀
明星高等学校／軟式ゴルフ 46
日本大学明誠高等学校／ギンモクセイ。
栃木県立足利南高等学校／Plum berry
神奈川県立藤沢総合高等学校／No.2
埼玉県立熊谷西高等学校／Eeliaas
青山学院横浜英和高等学校／Symmetry
東京都立向丘高等学校／楽異説
千葉県立東葛飾高等学校／Penta Heimer
国際学院高等学校／feeling of leaking
本庄東高等学校／Triangirl'S
神奈川県立市ケ尾高等学校／lit24/7

次回：令和8年3月下旬(予定)

主催大会レポート

夏の「関西」「中部」「関東」 大会の総括と所感

辻 伸介

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会
副理事長

「サウンド」面にさらなる探究を

大きな成長が見られた今大会ですが、今後の向上が求められるのはサウンド面です。次のステップとして、審査評価にも大きく影響していくと感じます。

今回印象的だったのは、ギターやベースのエフェクター、ドラムのスネアやペダル、キーボードなど、持ち込み機材が非常に多かったことです。サウンドへのこだわりを持つプレイヤーが増えたことは大変喜ばしい傾向でした。しかし一方で、楽曲にふさわしい音作りや、バンド全体の中でのバランスを意識した音作りについては、発声やピッキング、ショットといった演奏表現と同じように、さらなる探究が望まれます。

それは、かなり高度なレベルの話だと思いますが、軽音楽部は「音楽」部であるという前提に立ち返れば、音への意識は至極当然なこととも言えます。

夏と春に当協会が主催している3大会は、私たちにとっても各地の軽音楽部の皆さんの成長や新たな感動に出会える大変貴重な機会となっています。今夏開催された「第10回 高等学校軽音楽コンテスト関西大会(旧近畿北陸大会)」「第12回 同中部大会」「第7回 同関東大会」について、審査員を代表して振り返ってみたいと思います。

「合奏」の意識がステップアップ

今回の大会で強く感じたのは、軽音楽部という部活動が一段階ステップアップしたのではないかとことです。全国状況は断言はできませんが、少なくとも出場した多くのバンドから合奏への意識の高まりをはっきりと感じました。

当協会の大会は「コミュニケーションとチームワークを重視する」という方針を掲げています。そのため、出場バンドの多くがこの点に焦点を当てて練習を重ねてきたのだと思いますが、実際にその意識が演奏のまとまりや完成度につなが

りと表れていたと思います。多くの軽音楽部員が初心者として活動を始める中、限られた活動期間で学んで欲しいことは技術向上以上に「合奏力」、すなわち協働の力です。その意識が確実に浸透してきたことを喜ばしく思います。

共有されていた「表現力」

大会や演奏会といったステージでは、単に上手に、間違えずに演奏することがゴールではありません。大切なのは、審査員を含む観客に「音楽を伝える」ことです。言葉にすれば簡単ですが、実際には決して容易なことではなく、その力が審査にも大きく影響します。

軽音楽部はポピュラーミュージックを基盤とするため、しばしば派手なステージングが必要だと誤解されることがあります。しかし、「視覚的に楽しませること」と「心に届く演奏をすること」は同じではありません。どちらも大切な要素ではありますが、最も重要なのは「表現力」

いことをメンバー全員で共有して、いかに演出として反映させるか」です。

今回の3大会では、この点でも確かな進歩が見られました。多くのバンドが音楽を客席に届けようと、メンバー全員が楽曲に込めた想いや方向性を理解し、共有、表現できていました。統一感のある感情を伴った合奏をするためには、普段の練習やミーティングの質と量が物を言います。メンバー同士のコミュニケーションが円滑に取れているのであろうと感じさせる演奏が数多くありました。

また、当協会主催の3大会ではオリジナル曲でもコピー曲でもエントリー可能です。「どちらが軽音楽部らしいか」という議論もありますが、楽曲のメッセージや演奏の要点をメンバー同士で共有して、それを表現できるようにするまで練習を重ねるという点では、両者に違いはありません。むしろ大切なのは楽曲の種類ではなく、その楽曲をどれだけ理解して表現できるかであり、そしてそこに至るまでの過程なのだと思います。

夏休みに入り、日々の練習や各種大会に向けて、熱が入る7月下旬。7回目となる「高等学校軽音楽コンテスト関東大会」を横浜にある青葉公会堂で開催しました。当日は動画予選やライブ予選を通過した18校／22バンドが出場。オリジナル／コピーを問わず、各バンドが練習の結果をステージで存分に発揮しました。

主催者を代表して、当協会の三谷理事長が開会式に登壇。「東京都や神奈川県、千葉県や埼玉県をはじめ、関東地方の高等学校軽音楽部の目標になるようなコンテストを作ろう!」ということで始めた高等学校軽音楽コンテスト関東大会ですが、今年の夏で7回目の開催を迎えることができました。顧問の先生や関係者の方々にご協力をいただき、無事に大会が開催できたことを嬉しく思います。今日は日頃の練習の成果を存分に発揮する日です。ぜひ頑張っていたいただきたいです、各地の高校生バンドの演奏を聴くことができる場ですので、『楽

しかった!』という感想だけでなく、いろいろなバンドから学び、たくさんのかっこいい曲を聴いてもらいたいと思います。コンテストですので、順位はついてしましますが、結果に一喜一憂せず、これからも頑張ってください。大切なのは普段通りの演奏をステージで披露することができたか、です」と述べました。

審査員やコメンテーターが紹介されると、1バンド目の東京学館船橋高等学校の「Riots for peace」の演奏からスタート。演奏後には、審査員から「楽曲も歌詞も、アレンジもコーラスも、どれもかっこ良かったです。ロックテイストが散りばめられており、統一感もありました。ギターソロやドラムのビート感も聴かせどころで、心地良かったです。もう少し滑舌良く発声して、マイクに声を届けられると、もっと歌詞が伝わるようになるので、ぜひ研究してみてください」といったアドバイスを送られ、出場バンドはもちろん、聴衆も参考にしました。

令和7年度
第10回 高等学校軽音楽コンテスト関西大会

令和7年7月27日(日) 舞鶴市総合文化会館(大ホール)

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人かけはし芸術文化振興財団 共催：舞鶴市 協力：舞鶴ミュージックコミッション

後援：文化庁・舞鶴市教育委員会・京都府教育委員会・兵庫県教育委員会・和歌山県教育委員会・滋賀県教育委員会・福井県教育委員会・富山県教育委員会



結果報告	
グランプリ	大谷高等学校／Nodays
準グランプリ	大谷高等学校／コンタクト
第3位	大谷高等学校／PANDEMIC
舞鶴市長賞	兵庫県立東播磨高等学校／Not by choice
奨励賞	兵庫県立兵庫高等学校／You'll seek art
奨励賞	和歌山県立笠田高等学校／フラット
奨励賞	大阪府立大阪ビジネスフロンティア高等学校／キャンディーボックス
大阪府立鶴見商業高等学校／山本組 大阪府立槻の木高等学校／今宵ノカナタ 滋賀県立大津高等学校／天晴れ惨敗 大阪府立旭高等学校／Morning glory 滋賀県立大津高等学校／ノンシュガー 和歌山県信愛高等学校／Sound Eater 大阪学院大学高等学校／NoVA-LuNA 高岡第一高等学校／Neo one 高岡第一高等学校／ちゃづけ 京都府立峰山高等学校／SHARUM 福井県立若狭高等学校／chasing sound 兵庫県立西脇高等学校／金木犀 福井県立若狭高等学校／アマリリス	

次回：令和8年3月38日(土) 開催
宇治市文化センター(大ホール)

令和7年度
第12回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会

令和7年7月29日(火) 名古屋文理大学文化フォーラム(中ホール)

主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人かけはし芸術文化振興財団 後援：文化庁・愛知県高等学校文化連盟・愛知県教育委員会・静岡県教育委員会・岐阜県教育委員会・三重県教育委員会・富山県教育委員会 特別協賛：専門学校名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー



結果報告	
グランプリ	金城学院高等学校／白壁ガールズ
準グランプリ	名古屋経済大学市邨高等学校／なすな
第3位	愛知県立旭丘高等学校／PolaRizz
奨励賞	清水国際高等学校／ある∞に。
奨励賞	名古屋経済大学市邨高等学校／すいれん
奨励賞	東邦高等学校／まいのり
静岡県立浜松北高等学校／Set V!! 金城学院高等学校／mer calme 愛知県立半田高等学校／Contrast 名古屋市立緑高等学校／まいぺーすめーかー 名古屋市立緑高等学校／NoN spare 三重県立四日市商業高等学校／brilliant 名古屋国際高等学校／春蘭 浜松修学舎高等学校／ー273℃ 岐阜県立斐太高等学校／ばべっと。 高岡第一高等学校／KLEINOD 清水国際高等学校／INSPIRE 愛知県立瑞陵高等学校／HEX age IN!! 高岡第一高等学校／ウルマリ 愛知県立一宮興道高等学校／ナミダグモ 三重県立四日市商業高等学校／春風	

次回：令和8年3月30日(月) 開催
名古屋文理大学文化フォーラム(稲沢市民会館)

2019年の第1回大会より、今夏で「12回目」の開催を迎えた「高等学校軽音楽コンテスト中部大会」。春に引き続き、愛知県稲沢市にある、名古屋文理大学文化フォーラムの中ホールで開催しました。

当日は、予選の動画審査を通過した16校／22バンドが出場。愛知県をはじめ、岐阜県、静岡県、三重県、富山県の代表バンドが日頃の練習の成果をステージで存分に発揮しました。

開会にあたり、主催者を代表して当協会の三谷理事長が開会式に登壇。「東海地方や中部地方、北陸地方の高等学校軽音楽部の目標になるようなコンテストを作ろう!」ということで始めた高等学校軽音楽コンテスト中部大会も、今回で12回目の開催を迎えることができました。今日はコンテストなので、順位はつきませんが、結果に一喜一憂せず、これからも頑張ってください。そして、各地の高校生バンドの演奏を聴くことができる場ですので、いろいろなバンドから学び、たくさんのことを吸収してもらいたいと思います」と述べました。

審査員が紹介されると、早速、1バンド目の静岡県立浜松北高等学校の「SONE」の演奏からスタート。演奏後には、審査員から「オリジナル曲の披露でしたが、構成がとてもわかりやすく、馴染みやすい楽曲で楽しめました。ギターやベースのバランスを考えた音作りや各セクションの入口をしっかりと合わせるなど、『バンド力』が上がると、さらに良くなると思いますので、これからも頑張ってください」という講評や今後に向けたアドバイスが送られました。

厳正な審査のもと、今夏は金城学院高等学校の「白壁ガールズ」がグランプリを受賞。閉会式での総評では、当協会の辻副理事長より「今日は、いろいろなバンドの演奏を聴いたと思うので、(出場した)自分たちのことを激励しつつ、他校の良いところを取り入れて、明日からの活動に励んでください」と述べ、大会を締めくくりました。



▲フェスを彷彿とさせる立派なメインステージ。後方や両側に巨大なスクリーンも



▲講演会のプログラム。3日目には当協会理事長も登壇



▲カラッとした晴天に恵まれ、開放的なステージで演奏



▲弾き語りの対決では、赤と青のパネルで審査員が判定



▲100名を超える小中学生と保護者がセミナーに参加

会場に到着してまず驚いたのが、そのステージの大きさです。夏フェスを彷彿とさせる本格的なステージは、露店が並ぶ道路を挟んでメインとサブの2つに分かれていました。サブステージでは、ユニークな「弾き語り合戦」が繰り広げられていました。これは出場者2名がアコースティックギターの弾き語りを1分ずつ披露し、審査員が「赤」と「青」のパネルで勝敗を決めるというものです。3名の審査員のうち、より多くのパネルが上がった方が次のラウンドに進むという、ゲーム性のある楽しいプログラムでした。他にも、ドラムセットを2台使った「ドラムPK戦」やハードロックバンドのみによる「ロックステージ」など、日本のバンドコンテストでは見られない部門が多数あり、楽しめました。

当協会の三谷理事長は3日間の審査員を務めたほか、ホテルで行われた「セミナー」にも登壇。100名を超える小中学生とその保護者が参加する中、日本の軽音楽部の取り組みや高校生がオリジナル曲を中心に活動していることを伝えました。BAND CHINAの開催から2週間後には、京都府舞鶴市で第2回目となる「高等学校軽音楽文化祭 国際大会」を開催。昨年に引き続き、BAND CHINAで優秀な成績を収めたバンドを派遣していただき、グランプリを受賞した「SUN」が再来日してくれました。今回の訪中や国際大会の開催を通じて、音楽を通じた国際的な交流がさらに広がることを強く実感しました。



▲サブステージでは、出場者が1分ずつ弾き語りを披露



▲観客が集まり、ますます盛り上がるメインステージ



▲最終日の表彰式では表彰状や副賞が授与されました

中国最大規模の青少年バンドコンテスト「BAND CHINA」に審査員として参加

8月8日から10日までの3日間、中国最大規模の青少年バンドコンテストである「BAND CHINA」に審査員としてご招待いただきました。会場は中国本土の南に位置する、海南島です。気温は高いものの、湿度がなく、カラッとした晴天に恵まれた3日間でした。ここでは、当時の様子をレポートします（文・写真：事務局）。

令和7年度 第2回 高等学校軽音楽文化祭 国際大会

令和7年8月21日（木）舞鶴市総合文化会館（大ホール）
主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人かけはし芸術文化振興財団 共催：舞鶴市 協力：舞鶴ミュージックコミッション
後援：舞鶴市教育委員会・京都府教育委員会



出演バンド

神奈川県立藤沢総合高等学校／No.2 第6回 関東大会 グランプリ
神奈川県立市ケ尾高等学校／404 第7回 関東大会 準グランプリ
名古屋経済大学市邨高等学校／なすな 第11回 中部大会 グランプリ
金城学院高等学校／白壁ガールズ 第12回 中部大会 グランプリ
滋賀県立大津高等学校／Beat/Music 第11回 近畿北陸大会 第3位
国際学院高等学校／Vanity 第3回 オリジナルソング・グランプリ バンド部門 優秀賞
三田学園高等学校／INSOMNIA 第2回 オリジナルソング・グランプリ バンド部門 優秀賞
日星高等学校／酸星 軽音合同演奏会 in 舞鶴 優秀賞
中国／SUN Band China 青少年音楽祭 優勝

次回：令和8年8月中旬（予定）

日本からは春の大会と夏の大会の上位入賞校（バンド）をはじめ、オリジナル楽曲の大会である「全国高等学校軽音楽部オリジナルソング・グランプリ／バンド部門」の優秀校（2バンド）や開催地である京都府舞鶴市の代表校が出演しました。開会にあたり、主催者を代表して当協会の三谷理事長が登壇。「今日は各大会の上位受賞校や代表として選ばれた素晴らしい学校／バンドが集まりました。音楽や芸術に優秀はありません。それは無から有を生む創作活動であり、他を認める多様性であり、人々に感動を与え、豊かな時間を築くことができる、人類の最も優れた発明の1つと言えます。未来を担う若い彼らのポジティブなエネルギーに惜しみない拍手と歓声をお願いします」と述べました。

続いて、共催の舞鶴市より嶋田秋津市長の挨拶が代読されたほか、Band ChinaのCEOである林健翔氏も登壇し、今夏の国際大会に向けたメッセージをいただきました。

演奏前には、どのバンドもプレゼンテーションを実施（中国のバンドはインタビュー）。動画や写真を用いながら、学校や部活動、地域のことを紹介しました。単に演奏を披露するだけでなく、部活動や地域の特色なども知ることができ、本演奏会の特長の1つです。前日にはリハースルと交流会も行い、2日間を通じて、それぞれが仲を深めました。

来年度の国際大会は、これまでの実績をもとに更なる盛り上がりを目指しています。

軽音楽部の可能性

各部門の入賞曲講評から 楽曲の制作過程を振り返る

軽音楽部に入部した新1年生も加わり、部活動全体が活発になる5月下旬。3回目となる「全国高等学校軽音楽部オリジナルソング・グランプリ」を実施しました。今回も「バンド・弾き語り・DTM・GarageBand・インストール（歌なし）」の5つの部門で楽曲を募集しました。ここでは、今後の楽曲制作やバンドアレンジの参考にしていただきたく、各部門の入賞曲の講評をご紹介します。

●バンド部門●

中央大学杉並高等学校（東京都）
MYRIS「ヤングスタ」

イントロからグッと惹きつけられますね！歌詞もかなり個性的で、耳を惹きつけられました！しっかりとレコーディングされているので、とても聴きやすいのですが、もう少し各楽器の音のリズムが合うと良いな…と思いました。

サビのコーラスもかっこ良いです。か

●弾き語り部門●

なりレベルが高いと感じたので、余計にリズムが気になります…！シンコペーションや歌の乗っかり具合などが整えば、一気にレベルが上がりますね！ラスサビ終わりのメジャーコードになるところもめちやくちや良かったです。アウトロまで聴き応えを感じました！

ベースがスラップするところもすごくかっこ良いですね。メロディとコードが合っていない箇所がいくつかあったので、バンドメンバーで確認してみてください。（木村真己…専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー／音楽総合学科科長）

●DTM部門●

●インストール部門●

国際学院高等学校（埼玉県）
Vanity「ぼんぼん」

ロックサウンドがかっこ良いですね！ベースがどつしりと来て、とてもかっこ良いです！生ドラムで聴きたいですね！ボーカルもバワフルでかっこ良いです！

サビにハモリがあると、キャッチーに

なって、もっとサビらしくなると思いました。ギター2人の役割分担がもう少しあると良いかな…と思いました。音色もかなり近く、プレイ内容も似ているところがあるので、もっと広げられると、楽曲の幅が作れると思いました！（木村真己…専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー／音楽総合学科科長）

●弾き語り部門●

東海大学山形高等学校（山形県）
伊藤 葵「人生」

1弦のチューニングが良くないと感じました。カポをするとネックに圧力がかかるので、必ずカポをしてからチューニングをしましょう。

声の表情が素晴らしいですね！歌もとても上手でした。ハネたリズムもウキウキしていて、楽しいですね。等身大の言葉が胸に響き、とても良かったです。少しギターが単調なので、曲の表現の

幅が狭いかもしれません。歌ではしっかりとできているので、歌に合わせてギターも優しく弾いてみたり、可愛く弾いたり、力強く弾いたりすると、良いと思います。コードも綺麗に鳴らせているので、すぐにできると思います。何度も言いますが、とても良い声ですね！ピッチもすごく安定しているし、安心して聴くことができました。

16ビットは合わせる箇所が多いので、各パートが何を演奏しているのか、それらはしっかりと合っているかなどの点を細かく意識して練習しましょう！（木村真己…専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー／音楽総合学科科長）

●DTM部門●

土佐塾高等学校（高知県）
古賀陽斗「フリードハート」

曲の流れに細部までこだわりが見られ、非常に秀逸なバンドアレンジだと思います。

スピード感がありつつ、良いリズムの崩し方などもあり、各楽器の動きが活き活きとしている印象です。特にドラムはサウンドも演奏構築も完璧ではないでしょうか。

ボカロ特有の音質や聴き取りにくさを考慮すると、もう少し音量が欲しいと感じました。楽器類が静かな部分と盛り上がった部分で、音量を変えると良いかと思います。これからも頑張ってください。（小岩伸也…専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー／音楽総合学科サウンドクリエイターコース）

●GarageBand部門●

青山学院横浜英和高等学校（神奈川県）
梨「夏のうた」

ドラムのパターンが豊富でリアルさもあり、とても丁寧な打ち込みができていました。恐らく、シンセの音色は音量のコントロールが難しかったのだと思いますが、曲の中において、割と良い役割と考える動きでした。ところどころにミスはあるのですが、メロディに寄り添ったコード付けもうまく、多少感じた「こっちに行けば良いのにな」というコード進行は理論を身に付けたらレベルアップできると思います。

ギターが複数トラックある場合は、左右にパンを振りたいところです。表現したいことがGarageBandだと制限があり、やりきれないように感じたので、市販のDAWソフトの購入を検討しても良いのでは、と思いました。ぜひ試してみてください。

ださい。（小岩伸也…専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー／音楽総合学科サウンドクリエイターコース）

●インストール部門●

茂原北陵高等学校（千葉県）
モンキーライフ「ヒステリック・マザー・デイスカッション」

曲の中で曲調を大きく変えるアレンジのつながりがとても自然で、素晴らしいと思います。コード進行も複雑なものをつまなくコントロールできており、演奏も楽曲の構築もレベルの高さを感じます。本校に来られた際の演奏動画を見せてもらったのですが、緊張なども感じられず、息が合った楽しいパフォーマンスだと思いました。ぜひこのままの調子で頑張ってください。（小岩伸也…専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー／音楽総合学科サウンドクリエイターコース）

審査員が思う今夏の傾向と オリジナル曲制作のすすめ

木村真己…本校の学生にも通じることなのですが、「歌詞」にイマツっぽい言葉を使用しており、とても面白いのですが、一方で「メロディと言葉のバラつき」を感じることがあります。従来から「作詞家」という職業があるように、メロディに対して、ベストな歌詞や言い回し、区切りなどを考えるのですが、宇多田ヒカルから概念が変わったと言われているんです。

一聴すると、妙な部分で区切つて歌うと言いますか…。でも、それが現代の子たちには普通になっており、昭和のポップスや歌謡曲に比べると、歌詞が頭に入ってきにくくなっていると感じています。

とはいえ、応募曲の中には、ビシッ！と歌詞が飛び込んでくるバンドもあり、そういった楽曲は相対的に評価が高くなる傾向にあります。そういうバンドや作曲者は、きつといういろいろな音楽をたくさん聴いているんだと思います。「音楽の好き具合」が抜きん出ていると感じました。

歌詞に目を転じると、僕らには出てこないようなフレーズや言い回しが多く見られ、今の高校生ならではの言葉が溢れているので、嬉しくなりました。脳の海馬について歌っている楽曲があり、すごい角度だなあ…と（笑）。きつとすぐく頭が良いんだと思います。歌詞を読むと、すごいことが書いてあるなあ…と感心することばかりなのですが、一方で「楽曲」として、メロディに乗せて歌うと、せつかくの歌詞が届きにくいと感じることもあるので、そのあたりは再考の余地がありそうです。

オリジナル曲づくりは「ハードルが高い」と感じている高校生には、歌詞を作るところから始めるのを勧めています。フルコーラスの歌詞を考えるのは大変なので、まずはワンコーラスを作ってみてください。歌詞を作る際にイメージして欲しいのは「構成」です。AメロやBメロ、サビ…という風に楽曲の構成を意識して歌詞を考えてみると、簡単に歌詞が出来る上があります。歌詞の次は「コード」です。ギターやピアノでコードが弾けるとメロ

第4回 全国高等学校軽音楽部 オリジナルソング・グランプリ

開催
決定

募集期間：10月1日～12月19日
結果発表：1月19日
募集部門：バンド・弾き語り・DTM
GarageBand・インストール（歌なし）

詳細はホームページをご覧ください。
<https://keionkyo.org/event/orison/>

日本工学院 × Fm yokohama 84.7

Startline
84.7MHz
startline847.com

FMヨコハマ「Startline」
毎週土曜日20:30~0.A.
(パーソナリティ)
坂詰美紗子(本校卒業生)/中村豪(やるせなす)



RECORDING
ENGINEER

ACOUSTIC MEDIA DEPT.



CONCERT
STAFF

CONCERT EVENT DEPT.

It all begins here!



DANCER

DANCE PERFORMANCE DEPT.



MUSICIAN

VOCALIST

MUSIC ARTIST DEPT.

- コンサート・イベント科** 職業実践専門課程
- コンサート制作コース ●コンサートPAコース ●コンサート照明コース
 - コンサート舞台コース ●イベント企画コース
- ミュージックアーティスト科** 職業実践専門課程
- サウンドクリエイターコース ●ヴォーカリストコース ●プレイヤーコース
- 音響芸術科** 職業実践専門課程
- レコーディングエンジニア専攻 ●MAエンジニア専攻 ●ラジオスタッフ専攻
- ダンスパフォーマンス科** 職業実践専門課程(蒲田校のみ)
- プロダンサー専攻 ●バックダンサー専攻 ●ダンス&ヴォーカル専攻
 - コレオグラファー(振付)専攻 ●ダンスインストラクター専攻
 - テーマパークダンサー専攻

オープンキャンパス+体験入学

10/5(日)・12(日) 11/9(日)・16(日) 12/7(日) 以降 随時開催

八王子校のみ 蒲田校のみ 八王子校のみ 蒲田校のみ 両校

日本工学院 ミュージックカレッジ

日本工学院専門学校 日本工学院八王子専門学校

☎0120-123-351 〒144-8655 東京都大田区西蒲田5-23-22 ☎0120-444-700 〒192-0983 東京都八王子市片倉町1404-1

<https://www.neec.ac.jp/> @nihonkougakuin @neec_official @nihonkogakuin @nihonkogakuin_official



音楽／エンタメ業界の仕事 2025



業界全般

アンテナを張り
巡らせておくこと!

日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校

音楽やエンターテインメントにまつわる職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回は求められるスキルや目指す上での秘訣を日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校 入学相談室の山川先生に伺いました。

— ここ数年、人気のある学科・コースは何ですか？

山川：近年はミュージックカレッジの「コンサート・イベント科」の入学者が右肩上がりに増えています。コロナ禍の影響もあり、業界が低迷しているにもかかわらず、コンサート・イベント分野に特化したコンサート・イベント科が一番人気です。他学科になりますが、特筆すべき点は「ミュージックアーティスト科」のサウンドクリエイターコースです。ポカロPやアニソンの流行をはじめ、YouTuberやVtuberの台頭もあり、サウンドクリエイターとして「作曲を学びたい」「作品を作りたい」という意思を持って進学する学生が増えている傾向にあります。

— 入学前に、ある程度の演奏スキルや知識は必要ですか？

山川：演奏スキルや知識も必要になりますが、それ以上に、まずは自分が目指したいと考えている業界はどういう世界なのか、どんな仕事があるのかという「業界研究」や「職業理解」を深めてもらいたいと考えています。本校には、それらの理解をサポートする授業やカリキュラムが揃っているので、安心していただければと思います。

— 音楽／エンタメ業界でニーズの高い、人手不足が叫ばれている職業は何でしょうか？

山川：近年は、ライブ配信のニーズが増えているので、そういう場面でのITやICTのスキルに精通している人が求められています。例えば、「音楽」と「IT」を組み合わせ、新しいプロモーションを展開したり、音楽と音楽以外のものの組み合わせから新しい需要やビジネスチャンス、価値を生み出すなど、「プロデュース

力」やアイデアを実行に移す「行動力」のある人が求められています。

— ここ数年、卒業生の選んだ就職先には、どのような職種がありますか？

山川：レコード会社やプロダクション、レコーディング・スタジオ、コンサート・プロモーター、イベント会社など、卒業生の就職先は多岐に渡ります。就職活動として、何よりも大切なのは先ほどお話しした通り、「業界研究」や「職業理解」です。実際に就職を希望する業種がどんな世界で、どういった業務を手がけているのか。具体的にどんな会社があるのかをリサーチすることが重要なので、就きたい仕事を明確にするためにも、これらの理解を深めることが大切だと思います。

— 音楽／エンタメ業界で成功するための秘訣は何でしょうか。3つほど教えてください

山川：大切なのは「一人でも多くの人に何かを伝えたい」という気持ちや「音楽やエンターテインメントの分野で表現をしたい!」という熱意や意思を持っているか、ということだと思います。

2つ目は、「探究心」です。ここ数年、これまでの流行が繰り返されているところがあり、例えば、最近では80年代のファッションやトレンドが注目されていたり、数年前は90年代や70年代のリバイバルが盛んに行われていたなど、音楽も同じで、そうやって当時の流行がループしながら、新しい音楽が生まれていると思います。どこかに懐かしいエッセンスが入っていたり、世代ごとにグッとくる要素が盛り込まれているなど、単に「これまでになかった新しいものを作りたい!」というのではなく、きちんと音楽のルーツを辿りながら、現代の作品をブ

ラッシュアップすることで、新しい音楽が生まれる…という、これまでを振り返る姿勢が大切ではないでしょうか。また、「あの曲の、あのメロディーがグッとくるのは、こういうことだったんだ!」というようなルーツを探ることも本校のカリキュラムで行っています。「こういう仕掛け(トリック)があるから、大勢の人たちに受け入れられ、盛り上がっているんだな…」という分析や感動を生むための種明かしを探るのも勉強の1つなので、たくさんの音楽に触れることも重要です。

3つ目は、探究心に関連する部分になりますが、これまでになかった新しいものを生み出す想像力…「クリエイティビティー」です。例えば、最近ではYOASOBIのようにウェブ小説に着想を得て、音楽として表現するアーティストが誕生しているように、テレビやアニメに端を発して、小説やマンガだけに留まらず、ウェブの世界だけで表現をしたり、「どうやったら、こんな新しい発見ができるの?」と驚くようなアーティストもいるなど、作品のフックとなるコンテンツやトピックは多岐に渡っています。そういったものを拾い上げる力や新しい発見を見つけられる嗅覚が必要になるのではないのでしょうか。いろいろな分野にアンテナを張り巡らせておくことが、結果として、音楽や自身の活動に良い影響を与えてくれると思います。



▲コンサート・イベント科 学外実習ライブ

エンタメ&クリエイティブの専門学校



VISUAL ARTS

東京 / 名古屋 / 大阪 / 福岡

ビジュアルアーツ・アカデミー

ACADEMY

Akademeia 21st Century



ミュージシャン
声優・俳優・タレント
ダンス・ダンスボーカル
ネットタレント・インフルエンサー
映像クリエイター (3DCG・VFX)
テレビ放送・映画スタッフ
コンサート・舞台スタッフ
レコーディングエンジニア
サウンドクリエイター
映像音響 (MAエンジニア)
写真・デザイン
マスコミ出版
芸能マネージャー
特殊メイク

※地区によって教育分野が異なります

大学も専門学校も超える新たな学びの場



21世紀アカデメイア
Akademeia 21st Century

専門学校 東京ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 東京ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 大阪ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 ビジュアルアーツ専門学校より校名変更)

専門学校 名古屋ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 名古屋ビジュアルアーツより校名変更)

専門学校 福岡ビジュアルアーツ・アカデミー
(2024年4月 専門学校 九州ビジュアルアーツより校名変更)



歌や楽器を録音し、 作品にする仕事です

音楽やエンターテインメントに関する職業や業界は多岐に渡りますが、一体どんな世界なのでしょう。今回はレコーディングにまつわる仕事について、専門学校東京ビジュアルアーツ・アカデミー／音楽総合学科レコーディングコースの荒井先生に伺いました。

ー レコーディングにまつわる仕事全般について教えてください

荒井：簡単に紹介すると、音楽の分野であれば、楽器を録音するのが主な仕事です。いろいろなジャンルの音楽があるのはもちろん、録音する楽器の数や演奏者の人数などは楽曲によって異なります。また、全般に録音する行為を「レコーディング」と呼んでいるので、例えば、落語の収録や国語の教科書の音声CDの録音なども業務の1つに当たります。

音楽の例に戻ると、バンドやアーティストからレコーディングの依頼をいただき、「こんな感じのドラムのサウンドにしたい」「ギターの音をこんな風に録りたい」といったリクエストに応えたり、「そんな感じのイメージなら、こんなサウンドはどう?」という提案をしたりするのが、レコーディング・エンジニアの主な役割です。

また、ライブを収録したCDやDVDの録音は、すべてレコーディング・エンジニアが担当しています。よくライブの録音は音響(PA)さんがやっていると思われるがちですが、マイクや録音機材の選定や設置から本番の収録や編集まで、すべてレコーディング・エンジニアの仕事です。

ー 入学前に、ある程度の知識は必要ですか? 高校時代にやっておいた方が良いことも教えてください

荒井：特にレコーディングに関する知識やスキルは必要ありませんが、強いて言えば、いろいろな音楽用語が飛び交うことになるので、それについて勉強したり、簡単に理解しておくとも良いかもしれません。

また、いろいろな音楽…特に洋楽を高校時代から聴いておくとも良いと思います。理由は、日本の音楽は洋楽を参考にしている部分が多々あるからです。それに、「このギターのサウンドは

エリック・クラプトンみたいにして欲しい」「ヴァン・ヘイレンみたいな歪んだ音が良い」「クイーンのブライアン・メイ風のサウンドにしたい」といったリクエストを受けた際に、これらのギタリストのサウンドや特徴を知らないと要望に応えることができないので、メジャーな洋楽曲は一通りのものを聴いておくのがオススメです。

ー この仕事の楽しいところを教えてください

荒井：これは、恐らくレコーディングの世界をご存知ない方々には想像がつかないと思うのですが、ある楽曲をレコーディングする場合、担当するエンジニアはメロディしか知らないんです。歌詞はありません。その状態からアレンジを施し、キーを決めて、ドラムやベース、ギターといったベーシックな楽器から録音します。ドラムやベースを録り終えたら、「じゃあ、どんなギターを入れていく?」「これは少し違うから、こんなのはどう?」「ソロはどう? サックスでやってみない?」といった試行錯誤をスタジオで実践してみるんです。このように、レコーディングの現場では、毎回違うことが行われます。我々のようなエンジニアも「何かアイデアはありませんか?」「ここは、どう思います?」といった意見や感想が求められるなど、いろいろなやりとりや作業を通じて、1つの楽曲が完成する過程に携われるのが楽しいところだと思います。何もなかったところから創造物を作り上げ、組み立てていくのが一番の醍醐味ですね。

ー この仕事の大変なところを教えてください

荒井：自分の名前がCDやDVDなどの作品にクレジットとして載ることでしょうか…。エンジニアのアシスタント時代から載ることが多いので、最初の頃はスタッフ欄のところに名前が載っていると嬉しく感じると思うのですが、や

はり名前が載るというのは、その作品に対する責任感を持たないといけません。そこが大変に感じる部分であり、シビアな面だと思います。

ー この仕事を続けるのに大切なことは何でしょうか

荒井：一番は「コミュニケーション能力」だと思います。何を録音し、作品を仕上げるにも、まずはアーティストと会話をし、相手の要望を聞き出したり、完成図を共有しないとイケないので、意思疎通を図る能力が大切です。

2つ目は「チャレンジ精神」です。どんなことにも興味を持ち、例えば、ドラムを録音する場合、「いつもだったら、こうやるけれど、こうしたらどうだろう?」という研究心や好奇心旺盛な気持ちが不可欠だと思います。レコーディングの世界に「当たり前」はありません。録音して、それが「良いね!」と評価されれば良いので、どんなプロセスを踏んでも構わないんです。それを自分で研究し、自分なりの手法を見出せる人が、この仕事に向いていると思います。

3つ目は「諦めない気持ち」が挙げられます。チャレンジ精神にも通じますが、「今回はこうなったけれど、次はこうしてみよう!」という風に挑戦を続け、試行錯誤を繰り返しながら、さらに良いものを求める姿勢が大切です。



▲ DAWソフトを使用して、実習を行っています